



116年連続で  
～ 無一回も中止されず ～  
知 入 考 験

# 魚の城下町

羅臼町広報誌

みんなが主役のまち

11  
2008

No.231

# 羅白町表彰式

平成20年度「羅白町表彰式」が11月17日(月)に羅白町商工会2階会議室にて開催されました。この表彰は、多方面にわたり積極的に努力し、町の発展に多大なる貢献を賜りました方々を永く顕彰するものであり、受賞者は次の方々です。(敬称略)

## 貢献賞

### 【社会貢献賞】

(社会事業)	鹿又芳雄
(社会事業)	岩瀬和子
(身体障害者自立更生)	館洞初子
(身体障害者自立更生)	三浦芳己
(保健衛生)	阿部忠征
(保健衛生)	西東保夫
(保健衛生)	大野幹和
(住民組織活動)	岡本泉幸
(消 防)	黒澤春彦
(消 防)	杉本政治
(消 防)	齊藤一清
(消 防)	舟木清一



社会貢献賞 鹿又 芳雄 氏

### 【産業貢献賞】

(水産業)	高橋忠則
(水産業)	川端剛

### 【善行賞】

(善行功勞)	太田昭由
(善行功勞)	五十嵐絹江

## 納税表彰 (町税納期内連続完納者)

### 【50ヶ年】

嵯峨 一三

### 【30ヶ年】

佐々木	廣輝
寶	孝雄
大沼	孝治
米澤	正次



納税表彰 嵯峨 一三 氏

# 平成20年度「税に関する作品」表彰式

11月13日(木)に羅臼町及び根室税務署主催による小・中・高校生を対象にした「税に関する作品」の表彰式が行われました。今年度も数多くの作品が集まり、審査の結果、受賞された方々は次のとおりです。  
(敬称略)

## 【羅臼町主催】

### 中学生 作文の部 <応募総数38作品>

最優秀賞 3年 長川 千聖・2年 富山 安菜  
 優秀賞 3年 小倉 幸恵・1年 横前 美咲  
 佳作 1年 相木 ひかる・1年 東 狐 吏音  
 (以上6名 全て羅臼中学校)

### 中学生 ポスター原画の部 <応募総数49作品>

最優秀賞 2年 板倉 千咲  
 優秀賞 2年 水口 和音・1年 富山 真名  
 佳作 3年 坂本 瑞季・1年 金沢 舞  
 (以上5名 全て春松中学校)

### 高校生 作文の部 <応募総数39作品>

最優秀賞 1年 大山 愛佳  
 優秀賞 1年 川端 英美里・1年 吉田 彩乃  
 佳作 1年 川端 浩樹・1年 川端 美帆  
 (以上5名 全て羅臼高等学校)

## 【根室税務署主催】

### 小学生 書道の部

税を考える週間推進協議会賞 春小5年 村上 拓真  
 税を考える週間推進協議会特別賞 春小6年 山田 莉那  
 根室税務署管内青色申告会連合会会長賞 羅小5年 斎藤 美袖  
 羅 白 町 長 賞 羅小4年 泉 澤 夢香  
 北海道税理士会釧路支部根室部会長賞 羅小4年 小倉 千波  
 根室管内納税貯蓄組合連合会会長賞 羅小5年 石井 佑樹  
 根室 間 税 会 会 長 賞 春小5年 釣 香沙実  
 根 室 税 務 署 長 賞 羅小5年 平田 大知  
 根 室 税 務 署 長 賞 春小5年 村井 ひかり

### 中学生 作文の部

根室管内納税貯蓄組合連合会会長賞 羅中2年 八幡 奏  
 根 室 税 務 署 長 賞 羅中2年 富山 安菜  
 根 室 税 務 署 長 賞 羅中3年 山崎 翼  
 北海道納税貯蓄組合連合会会長賞 羅中3年 長川 千聖  
 根室管内納税貯蓄組合連合会会長賞 羅中3年 小倉 幸恵

### 高校生 作文の部

根 室 税 務 署 長 賞 羅高1年 八幡 瑠茄



中学生 作文の部 受賞者



中学生 ポスター原画の部 受賞者



小学生 書道の部 受賞者



高校生 作文の部 受賞者

# 医療再生プロジェクト

## 最終報告の概要

平成20年4月1日から、当町の病院を19床の診療所（入院病棟休止）として、新たなスタートを切りました。

羅臼町の危機的な財政状況の中、「有床化」・「救急受け入れ」などの実現に向け医療再生プロジェクトを庁舎内に設置し、検討を進めてまいりました。この度、その最終結果について概要を報告いたします。

### 有床化実現の条件

#### 医師の安定的確保

##### 【今まで】

医師派遣を大学に依存していた経緯から赴任医師の考えに左右され、町としての一貫した医療福祉体制を構築できなかった面があった。

##### 【これから】

町の目指す医療ビジョンを理解し、同じ方向性を持って取り組める地域医療に志のある医師を招へいする。

#### 地域医療に志のある医師を招へいする

- ・ 羅臼町としての情報発信力強化
- ・ 学会などを通じ地域医療志向の医師へ情報発信
- ・ 住民医療講演会の開催などで外部医師とコミュニケーション
- ・ 医師向け情報発信ビデオ作成

#### 医師の安定的確保

- ・ 医療の不確実性を理解する
- ・ 医療は100%ではない
- ・ 最善を尽くしても結果が伴わない事もある
- ・ 理不尽な要求をしない

#### 看護師等の安定的確保

##### 【看護師】

- ・ リーダーとなる人材の確保（町内のみならず全国公募含む）
- ・ 羅臼町内の退職看護師等への働きかけ
- ・ アウトドア雑誌等への求人広告掲載（沖縄ではダイビング雑誌の広告で全国から看護師が集まる等の事例あり）

##### 【看護助手】

- ・ 羅臼町内から採用し育成する

### 羅臼町の医療ビジョン

#### 医療保健福祉の連携による地域包括ケアの推進



地域包括ケアとは、医療（診断・治療）・保健（健康づくり）・福祉（リハビリ・介護）が一体となって継続的に地域住民に提供することで、安心して暮らせる町づくりを目指すこと。

### 救急体制の実現に向けて

#### 救急体制の実現と住民意識の変革

##### 【夜間休日のコンビニ受診撲滅】

緊急性がなく、患者の都合で時間外に受診すると医師の休息を奪うことになり、地域から医師が去る大きな要因となる。

- ・ 夜間は緊急以外受診しない住民意識の徹底
- ・ 夜間受診の目安となる対応マニュアルの整備
- ・ 看護師による夜間緊急電話相談

##### 【救急体制の充実】

救急に対する救急救命士や看護師の適切な対応及び判断

## 採算性を重視した経営

### 経営シミュレーションと経営形態

- ・現状維持では赤字が拡大し、町財政自体が破たんしかねない。
- ・公的サービスを提供しつつ、民間の効率的な経営手法を導入するには、公設民営による運営が現実的。
- ・公営では材料費や人件費の削減に限界がある。
- ・公営での硬直化した給与体系では収益増加＝待遇向上などの動機付けが困難なことから、増患にも限界があり黒字化は困難。

体制	平成20年度当初予算	現 状	公 設 公 営	公 設 民 営
医 師 数	2人	2人	3人	3人
外来/日	100人	80人	100人	120人
在宅患者	3人	3人	3人	30人
入 院	不 可	不 可	19床	19床
救 急	昼のみ	昼のみ	24時間	24時間
収 入	196,000千円	141,000千円	284,710千円	334,000千円
材 料 費	29,000千円	29,000千円	37,500千円	40,000千円
人 件 費	179,000千円	179,317千円	274,787千円	200,000千円
経 費	116,000千円	105,632千円	127,611千円	94,000千円
支出合計	324,000千円	314,049千円	439,898千円	334,000千円
収 支	△128,000千円	△172,511千円	△155,188千円	-
備 考		9月末での年間予想	経費削減努力・給与削減なし	経費削減努力・給与民間水準・外来患者増加・訪問診療拡充

### 診療所経営健全化について

#### 【町外受診患者を羅臼に戻すことが重要】

- ・診療所医師による健康づくりの支援  
(健康講話の実施)
- ・広報紙等による情報発信

#### 【公設民営】

- ・19床24時間救急対応を前提とした民間招致
- ・民間の手法で効率的経営

#### 【在宅支援診療所の申請】

- ・高齢者入院施設や介護施設の不足緩和
- ・診療所経営安定化の観点
- ・在宅往診にて24時間体制で退院後の療養を支援

## ま と め

### 地域医療を持続可能なものにするために

- ・羅臼町としての明確な医療ビジョンを持つ ⇒ 医療保健福祉の連携による地域包括ケア推進
- ・羅臼町の目指す医療ビジョンに共感する医師の招へい
- ・多様な手段による医療従事者の確保
- ・公設民営による効率的経営で採算性を確保
- ・地域住民の協力により救急体制を構築 ⇒ コンビニ受診をしない  
⇒ 出来るだけ昼間に地元で受診する

最後に診療所運営が今後も安定的なものとしていくためには、行政のみならず町民一人ひとりの責任ある対応や行動が改めて問われることになると考えます。全国的に見れば、医療危機を乗り越え健全経営したところもあります。羅臼町のような人の顔と名前が一致するような地域特性を最大限活かし、町民ぐるみで取り組むことができれば医療再生は可能と考えます。

# PROJECT 産業活性化プロジェクト

～町民みんなで取り組む産業の活性化～

## 産業活性化プロジェクトとは

漁業資源の減少、人口の流出、少子高齢化の進行など、当町を取り巻く環境は厳しさを増しており、地域の活力の低下が心配されています。

当町では人・まち・自然がいきいきと輝く「魚の城下町らうす」を目指したまちづくりを進めていますが、そのためにも漁業を中心とした産業の活性化が必要です。

こうしたことから、産業の活性化、地域の活力の再生を目指し様々な取組を進める「産業活性化プロジェクト」に着手しました。

## 産業活性化プロジェクトが取り組んでいること

### らうす産業活性化協議会の設置

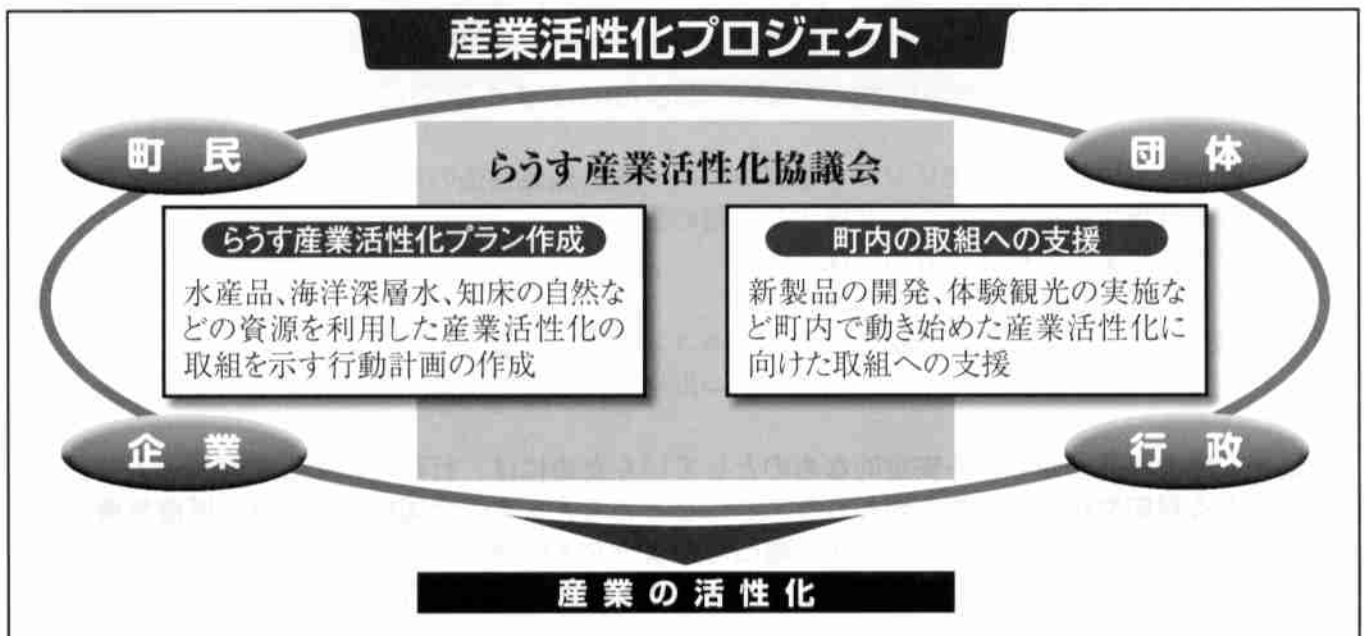
町内が一体となった取組を進めるため、町民、企業、団体、行政など町内の様々な方々により構成される「らうす産業活性化協議会」を設置しました。

### らうす産業活性化プランの作成

産業活性化に向けた具体的な取組をお示しする「らうす産業活性化プラン」を作成しています。

### 町内の取組への支援

すでに町内で始まっている産業の活性化に向けた様々な取組を支援しています。



## らうす産業活性化プランとは

当町の基幹産業である漁業を中心とした産業の活性化と地域の活力の再生を進めるため、町民、企業、団体、行政など様々な方々が連携し一体となって取り組む対策をお示しする行動計画です。今年度中の作成を目指し、「らうす産業活性化協議会」において検討を進めています。

### プランが示す取組

現在作成している「らうす産業活性化プラン」では、次のような取組を進めていくこととしています。

#### 地元の水産品を利用

地元の水産品を利用して、基幹産業である漁業を中心とした産業の活性化を進めます。

(具体的な取組) 地元水産品の消費の拡大、付加価値を高める、水産資源の管理を進める など



#### 海洋深層水を利用

本格的な供給が始まった海洋深層水の利用を増やし、様々な産業の活性化を進めます。

(具体的な取組) 漁業など様々な産業における利用の拡大、町内外における販売活動を進める など



#### 「知床」の豊かな自然を利用

世界自然遺産「知床」の豊かな自然を利用して、観光をはじめとした様々な産業の活性化を進めます。

(具体的な取組) 体験型・滞在型の観光メニューづくり、情報の発信を進める など



#### 町内の取組への支援

地元水産品を利用した新製品の開発、魚介類を中心とした地元食材の販売を行う「ごっこ市」の開催、漁業などの産業体験プログラムの実施など、町内で動き始めた産業活性化に向けた動きを、国や北海道などの支援策の利用、活動への積極的な参加などを通じて支援しています。



らうす産業活性化プロジェクトの取組内容につきましては、羅臼町ホームページにおいてもご覧になることができます。

羅臼町ホームページ： <http://www.rausu-town.jp/20081008000.html>

# 知床・羅臼まちづくり基金

## 中間報告

### 寄付者や町民のみなさまへ

寄付金を財源として、寄付者の社会的投資を具体化することにより、寄付を通じた住民参加の地方自治を実現し、個性豊かな活力あるまちづくりに資することを目的に、平成17年度より「知床の自然保護」、「診療所建設事業」、「北方領土返還運動事業」の3事業を政策メニューとして位置づけ実施された「知床・羅臼まちづくり基金」の総額が約5,000万円に達しました。

ここに、これまでの基金の状況及び、平成20年度の中間報告をさせていただきます。

## 1 寄付の状況

### (1) 平成19年度までの寄付の状況

(単位：件数=件・金額=円)

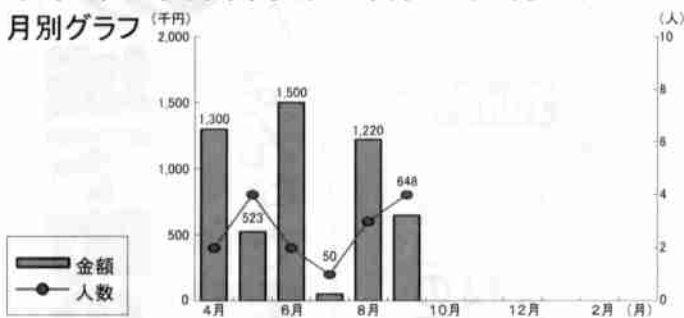
	平成17年度		平成18年度		平成19年度		合計	
	寄付額	件数	寄付額	件数	寄付額	件数	寄付額	件数
知床の自然保護・保全事業	3,778,268	40	350,000	9	165,000	8	4,293,268	57
診療所建設事業	11,926,173	28	18,975,000	56	5,109,400	29	36,010,573	113
北方領土返還運動事業	515,000	4	3,344,000	5	545,000	6	4,404,000	15
指定なし	20,000	2	-	-	10,000	1	30,000	3
合計	16,239,441	74	22,669,000	70	5,829,400	44	44,737,841	188
運用益	-	-	19,271	-	114,564	-	133,835	-
基金総計							44,871,676	188

### (2) 平成20年度中間期の状況

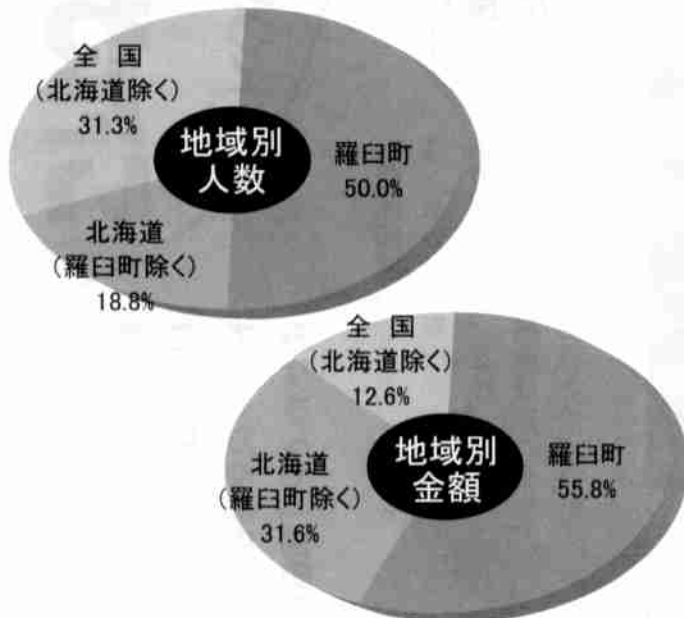
	知床の自然保護・保全事業		診療所建設事業		北方領土返還運動事業		指定なし		合計		
	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	人数
4月	0	0	1,300,000	2	0	0	0	0	1,300,000	2	2
5月	316,012	1	207,000	3	0	0	0	0	523,012	4	4
6月	0	0	1,500,000	2	0	0	0	0	1,500,000	2	2
7月	0	0	50,000	1	0	0	0	0	50,000	1	1
8月	0	0	1,020,000	2	200,000	1	0	0	1,220,000	3	3
9月	5,000	1	342,620	2	300,000	1	0	0	647,620	4	4
中間期合計	321,012	2	4,419,620	12	500,000	2	0	0	5,240,632	16	16
総額	4,614,280	59	40,430,193	125	4,904,000	17	30,000	3	49,978,473	204	188



## ○平成20年度中間期の寄付金月別状況



## ○平成20年度中間期の寄付金地域別状況



## 知床・羅臼まちづくり基金

### 政策メニューの紹介

#### ◎知床の自然保護・保全事業



自然環境知識の啓発などを含めた自然保護・保全の為に最適な事業を検討し実施する。

#### ◎診療所建設事業



町内唯一の医療機関である診療所。施設は築40年以上経過し老朽化が著しいため、早急な施設整備が必要です。

#### ◎北方領土返還要求運動事業



元島民を中心に返還運動を実施している。寄付を介して世論を盛り上げ、より充実した事業展開をする。

## 2 基金の運用

基金制定後、これまでに基金の処分は行っておりません。  
今後、より良い有効活用を図り、事業を展開していきます。

### 寄付者の方々 (平成20年4月～平成20年9月)

(順不同・敬称略)

#### ○個人の寄付者

・三井茂子	埼玉県鶴ヶ島市	30,000円	・山下和恵	北海道目梨郡羅臼町	20,000円
・福岡仁	北海道目梨郡羅臼町	50,000円	・杉目正尚	北海道上川郡新得町	339,940円
・佐藤房江	北海道目梨郡羅臼町	500,000円	・宮本和子	神奈川県川崎市	5,000円

#### ○団体の寄付者

・羅臼漁業協同組合女性部	北海道目梨郡羅臼町	300,000円	・羅臼鮮魚買受人組合	北海道目梨郡羅臼町	1,000,000円
・北海道コカ・コーラボトリング㈱	北海道札幌市	316,012円	・宗教法人念法真教	大阪府大阪市	200,000円
・故郷東京らうす会(事務局)	神奈川県横浜市	127,000円	・羅臼町商工会青年部	北海道目梨郡羅臼町	2,680円
・羅臼ライオンズクラブ	北海道目梨郡羅臼町	50,000円	・U I ゼンセン同盟	東京都千代田区	300,000円

(注) 個人の寄付者について、氏名の公開を希望されていない方の掲載はしていません。

○知床・羅臼まちづくり基金については、羅臼町ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.rausu-town.jp>

# み 城下町のわだいな

みんながまちづくり

町では協働のまちづくりを推進しています。  
 ここでは、町民や団体が自らの意思で「協働のまちづくり」を実践している方々を中心に取り上げ掲載して行きたいと考えています。  
 みなさんも「協働のまちづくり」にご参加下さい！

10月31日(金)

羅臼の海の幸  
 が学校給食に  
 なりました



関係機関の皆さん、子ども達へおいしい羅臼の食べ物をありがとうございました。  
 (関係機関の名前は13ページの寄付寄贈に掲載させていただきました)

いくら丼・石狩汁など羅臼の食材使った給食「羅臼定食」が町内全小中学校に配られました。  
 羅臼の食材を使った給食は年十回程度を予定しており、食材の提供から加工に至るまで町内の各関係機関の支援を受けて行なわれています。  
 子ども達に「一番すきなものは？」と聞くと「いくら！」と元気に答え、おいしそうに食べていました。



いくら丼にしてがぶり！（飛仁帯小学校にて）

大盛況！  
 母ちゃんのごっこ市

10月29日(水)



羅臼のサケと斜里の野菜で作られたアラ汁が無料配布

羅臼漁協製氷施設前で、母ちゃんのごっこ市が開催されました。

ごっこ市は漁協女性部が中心となり、浜の母ちゃんたちが個々に持ち寄った新鮮な魚やお手製の漬物、そしてカメラポコなど手作りの物を販売している青空市です。

今回は、みぞれ混じりの空模様にも関わらず多くのお客さんでごったがえしてました。

お客さんは、それぞれ目をつけていた商品を手に入れ喜んでいました。  
 母ちゃんたちが用意した商品は20分程で売り切れが続出するほどの盛況ぶりでした。

11月7日(金)～9日(日)

### 満員御礼！第38回羅臼町総合文化祭

7日からの3日間の日程で、第38回羅臼町総合文化祭が開催されました。

昨年までは、公

民館2階大ホールをメイン会場とし、週末ごとにイベントを開催していました。

今年は、体育館に展示スペースをつくり、イベントは公民館で行なうという新しいスタイルでの開催となりました。来場者からは体育館で展示すること、「開放感があつ



体育館で行なわれたオープニング・セレモニー



春小4年のヨサコイが小劇場を盛りあげました！

てとてもいい」と好評でした。また、8日の夜に開催された町民小劇場は、春松小学校4年生のヨサコイや羅臼幼稚園年長組の踊りなども花を添え、悪天候にも関わらず大入りとなりました。事務局長の平原英雄さんは「展示部、演芸部門の区別なく全員が協力したこともあり、準備もスムーズに進みよかったです。来年もこの形で行ないたい」と話してくれました。

10月14日(火)

### 麻布歯科診療所再スタート



庄司医師(右から2人目)とスタッフ3名で、診療しています

麻布歯科診療所が庄司周史医師を迎え10月16日に再スタートしました。診療については子どもから大人まで一般の治療はもちろんですが口腔外科も行なうことが出来るとのことでした。庄司医師は「痛くなる前の予防が大事。早期発見、早期治療のため、健診に来てみませんか」と話してくれました。詳しくは、麻布歯科診療所 電話88-2973

10月6日(月)

### 郵便局岬町分室が新たに開局！！

羅臼郵便局岬町分室が10月6日、元教員住宅を改装し、新たに開局しました。

分室には2名の職員が勤務しており、岬町の方が主に利用されることでした。利用者の源波さんは「出稼ぎで岬町に来ている。郵便局が近くにあるとやっぱり助か



水野さん(左)、両徳さん(右)がお待ちしています

るね」と話してくれました。羅臼郵便局岬町分室主任の水野智之さんは「岬町の皆さんのお役に立てれば嬉しい。是非ご利用下さい」とのことでした。



11/6林町長室にて  
脇町長より伝達されました。

幼稚園教育の重要性を訴え幼児教育の推進に努めたことなどの功績が認められこの度受賞となりました。おめでとうございます。おめでとうございます。

峯浜町  
石川 勝 氏

24年間の永きに亘り、町教育委員を務め平成18年10月より教育委員長をされています。

地方教育行政功労者表彰  
受賞(文部科学大臣表彰)  
羅白町教育委員長 石川勝氏



11/7金町長室にて  
釧路行政分室長より伝達されました。

14年以上の永きに亘り、行政相談員を務め平成15年5月より釧路行政相談委員協議会理事を務めています。

地元住民と行政の架け橋として苦情や要望の解決に尽力された功績が認められこの度受賞となりました。おめでとうございます。

船見町 高岡 唯一 氏

総務大臣表彰受賞  
行政相談員 高岡唯一氏

12月は道税の  
滞納処分強化月間です

12月は道税の滞納処分強化月間です。根室支庁では、道税の滞納の強化に努めます。みなさんの暮らしを支える道税の納税に、ご理解とご協力をお願い致します。尚、12月11日(木)は、夜間納税相談窓口として根室支庁税務課にて午後8時まで開設します。

未納の方については、この機会にぜひお越しください。

お問合せ先  
根室支庁地域振興部税務課納税係  
直通電話(0153)24-5466

平成21・22年度  
北海道競争入札参加資格審査申請の受付

北海道(出先機関を含む)が発注する建設工事・設計・物品購入・清掃・その他の競争入札に参加を希望される根室支庁管内の皆様を対象に、1月中旬から2月上旬にかけて資格審査申請の受付を実施します。詳しくは北海道及び根室支庁のホームページをご覧ください。

お問合せ先  
北海道根室支庁  
地域振興部総務課  
電話(0153)23-6813

情

RAISO TOWN  
報ひろば

INFORMATION

保健福祉課  
☎ 87-2161

今月のヘルスチェック

プチうつ?!  
~うつ病と異なる病気~

うつ病は、ほとんど1日中、ほぼ毎日うつ状態が続くのにに対し、プチうつは週に数回、主に夕方から夜にかけてうつ状態になります。

プチうつは、病気が軽いのではなく、うつ状態になっている時間が短いということ。周囲も自分も病気になっていることに気づきにくく、治りにくい場合もあります。

<プチうつの主な症状>

- ・朝は元気なのに夕方からイライラや不安感・絶望感が増す。
- ・ささいなことにキレたり、落ち込んだりする一方、楽しいことでウキウキすることもある。
- ・過眠、過食になりやすい。
- ・急に手足が鉛のように重く感じ、何もやりたくなくなる。

<なりやすい時・タイプ>

- ・対人関係のストレス、けが・病気などの肉体的ストレスが引き金になる。
- ・転職後や引越後は、新しい仕事や環境に早く慣れようと頑張りすぎたり、プレッシャーがかかり、これがきっかけとなることもある。
- ・人からどう見られているのか気になる人は、よく思われたいために頑張りすぎたり、自分の感情を抑え込んだりして、なりやすい。プチうつかな?と思ったら、まずは受診。薬をきちんと飲み規則的に過ごすことが大切です。

9～10月に実施した取り組みをお知らせします。

①9月から準備していた滞納処分に伴うインターネット公売を10月22日から24日までを入札期間として実施し、結果として不動産1件及び動産2件の計3件中、動産2件が落札しました。

落札額は消費税込みで27,562円となり、当町にとっては初めての落札であります。

②これまで滞納処分として差押を執行してきましたが、9月から10月にかけて債権を中心として差押を執行してきました。町内及び町外も合わせ、支店を含む10行の金融機関に対し31件の預金差押を執行し、結果として888,137円の配当となりました。

このように今後も引き続き、完納者の方々に対して不公平のないよう、より一層の強化を図りながら、滞納処分情報を随時広報に掲載し、周知してまいります。

### 町税滞納収納額の動き

平成20年9月末現在	22,165,188円
平成19年9月末現在	22,884,380円
増 加 額	△719,192円

〈お問合せ先〉役場税務課 TEL87-2113



## たまにいる“気持ち悪い魚”

身にゴマが入っているような魚や、皮に腫瘍みたいなものができている魚をたまに見ると思えます。これらの魚は、その風貌から“癌の魚”だと思われることが多いようですが、実はそうではありません。その多くは海に普通に生息している“非常に小さい寄生虫”が寄生することで、細胞が変化したものです。これらの寄生虫はアニサキス等と異なり、その部分を人が食べても害は無いそうです。

ただし、“気持ち悪い魚”の中には人体に害のあるものもあるかもしれませんので、“おや？”と感じた魚を見かけた場合は、まずは調べてみる事が大切ですので、お気軽に役場水産商工観光課にご連絡ください。

寄附・寄贈  
ありがとうございました

### 【学校給食食材等支援】

羅白漁業協同組合 様

羅白漁協水産加工振興協会 様

羅白漁協定置漁業部会 様

羅白漁協小定置漁業部会 様

羅白漁協

すけそう刺網漁業部会 様

羅白漁協刺網漁業部会 様

羅白漁協昆布漁業部会 様

羅白漁協いか釣漁業部会 様

### 【診療所建設事業】

羅白町商工会青年部 様

杉目 正尚 様

松緑神道大和山羅白天水

チャリティーバザー実行委員 様

### 【北方領土返還運動事業】

UIゼンセン同盟 様

### 【知床保全事業】

宮本 和子 様

(平成20年9月11日～平成20年11月10日受付分掲載)

知床・羅白まちづくり基金

# 郷土資料室移動展 「峯浜の歴史展」 が開催されました

## 【羅臼町郷土資料室】

郷土資料室では町民のみならずより寄贈いただいた生活、漁業に関する資料や、遺跡から出土した土器や石器、知床の自然を代表するシマフクロウやオオワシ、ヒグマの剥製などを多数展示しています。

開室日：月～金曜日(祝祭日を除く)

開室時間：10時～17時

場 所：町民体育館1階

入室料：無 料



移動展の様子

10月16日から21日の期間、植別小中学校において第11回郷土資料室移動展、「峯浜の歴史展」が開催されました。この移動展は市街地から離れた地域の小中学生にも羅臼の歴史や文化自然などを理解してもらおうと、毎年開催している事業です。

今年には植別小中学校を会場にして峯浜地区の歴史をテーマに、先史時代から昭和までの遺物や写真パネルなど40点ほどを展示しました。

峯浜には約八千年前の縄文時代早期から約七百年前の擦文文化期、更にはアイヌ文化期の遺跡など数多くの遺跡が確認されています。

す。中でも統縄文文化期(約二千年前)の植別川遺跡の墓から出土した3点の銀片は日本最古の銀として有名です。江戸時代にオルマップ川近くに場所請負人、飛驒屋の漁場が設けられ、寛政元年(1789)には和人の圧政に耐えかねた目梨、国後のアイヌが蜂起し、このオルマップで和人数名を殺害する、という事件が起こりました。弘化2年(1845)には幕末の探検家、また、北海道の名付け親としても知られる松浦武四郎がこの地を訪れ、詳細な記録を残しています。武四郎は安政5年(1858)にもここを通過していますが、そのときに見たであろう羅臼最古の植別神社に奉納された釣り鐘も展示いたしました。

この釣り鐘は平成10年に峯浜の住民の方が砂浜に埋まっていたものを発見し資料室に寄贈していただいたもので、弘化5年に奉納されたものです。

羅臼の町は昭和5年(1930)、「羅臼村」に改称されるまで植別村と呼ばれてお



昭和10年頃の植別橋

り、明治20年代より和人の移住が急激に増加しましたが、明治36年(1903)の峯浜地区にはアイヌの民家が10戸と船大工、料亭などの和人の民家が5戸あるだけでした。植別小中学校は明治36年、植別特別教授所として一般民家を借用し、生徒6名で開校しました。

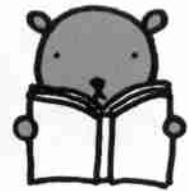
郷土資料室では町内で撮影された古い写真を探しています。町の歴史を物語る写真をお持ちでしたら、是非連絡下さい。複写した後一週間ほどでお返しいたします。

**ご協力に感謝!**

# 第7回 らうす古本市

去る11月9日楽しい企画を盛り込んで、本に親しむ一日を過ごしていただきました。

## らうす古本市の収益金で 図書室に児童書を寄贈



プレ古本市（5月）と第7回らうす古本市及び、個人から頂いた図書券や募金など合わせて総額約3万円の収益がありました。

休日返上で汗を流した実行委員会より児童書を寄贈いただく予定です。暴風の中、足をお運びいただいた町民の皆様、実行委員の皆様は紙面にて心よりお礼申し上げます。



「ぐりとぐらのえほんぽけっと」と「更生保護女性会」が主体となって協力しています。



「こんなに飛び出すのー!」  
驚きの仕掛け絵本

## 仕掛け絵本展

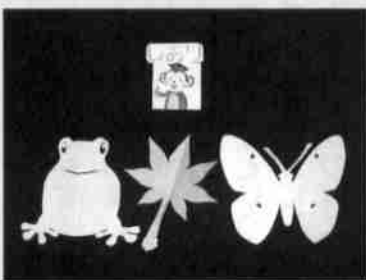


大人も魅せられた美しい仕掛けの絵本の数々を展示。

切り紙で「こおり」の

## 工作コーナー

作り方は「今森光彦のたのしい切り紙」に載っています。



## 切り紙に夢中!

「かえる」「ちょうちょ」「はっぱ」色紙を切るだけで、シンプルだけどかわいいしおりづくりができます。



## 旬の本



小説・エッセイなど

- 「青春ひまわりのかっちゃん」西川つかさ
- 「三月の招待状」角田光代
- 「波打ち際の蜚」島本理央
- 「もっと塩味を!」林真理子
- 「タイム屋文庫」朝倉かすみ
- 「ギョットちゃん」の冒険」阿川佐和子
- 「当マイクログフォン」三田完
- 「南極にいった男」小説白瀬南極探検隊
- 立松和平
- 「石榴ノ蠅」佐伯泰英
- 「帰省 未刊行エッセイ集」藤沢周平
- 「千本雨傘」澤田ふじ子

教養・社会問題など

- 「地方自治自立へのシナリオ」愛なき国
- 介護の人材が逃げていく」お公家さんの日本語」堀井令以知
- 「大人が知らないネットいじめの真実」渡辺真由子
- 「いまさら聞けない俳句の基本Q&A」小島健
- 「親子のハッピーコミュニケーション」汐見稔幸
- 「実用書など」

- 「もう一軒おつまみ横丁」瀬尾幸子
- 「野菜の保存&使いきりレシピ」
- 「リンパさらさらマッサージ」鏡久美子

休室日

11月28日(金)

# 旬 街道

## 第7回子ども祭り 子ども会のテーマはエコ



羅白町子ども会リーダー会 会長  
三好 玲奈さん

最後に今後のリーダー会について聞くと「後輩が、しっかりとしていますから大丈夫です」と笑顔で答えてくれました。当日取材に行くと、一生懸命働くリーダー会のメンバーと多くの子どもたちの笑顔がありました。



羅白町子ども会リーダー会メンバー一同

羅白町子ども会リーダー会 会長 三好玲奈（みよし れな）さんに子ども祭りの前日準備をしているところお話を伺いました。「みんなで話し合い、今年の子どもの祭りのテーマを「エコ」と決めました。それで、出し物もエコなものということで、牛乳パックの再利用で作れる遊びにしました。案は本から探し、牛乳パックのジエンカ・魚釣りゲーム。そして、ウォーターズライダーなどを用意しました。みんな、作るのにはそれぞれ苦労しましたが、小さな子どもたちが喜んでくれるよう考えて作りました。また、食べ物のコーナーも出します。メニューはクレープ・チョコバナナ・ベッコウ飴などこれから準備します。来てくれた子どもたちが、楽しんでもらえればと思います」

### 人の動き

平成20年10月末現在  
( ) 内は平成20年8月末対比

人口	6,216人	(- 5)
男	3,099人	(- 1)
女	3,117人	(- 4)
世帯	2,200世帯	(+ 7)

### 編集後記

#### ◎広報担当の役得

広報担当になって写真を撮る機会が増えました。中でも子どもたちの行事を撮ることが多く、楽しみになっています。

普通では入れない位置から撮ることができ、たまにはナイスショットもあります。何かの形でお見せ出来ればと思いますので、その際はよろしくお願ひします。(K)

## 羅白いさり火吟社

五千尾の鯉一声に競り落とす  
磯釣りの煮心に釣瓶落としかな  
鯉切身炉端串焼き浜番屋  
千石の祝いめでたし鯉番屋  
新涼や玉砂利すすみ森稽古  
秋立つやいさり火祭りの立看板  
大漁旗掲げて鯉船進水す  
敬老日元氣一番贈り物  
若者に朝光眩し初の鯉

小野寺千鶴枝  
川端白浪  
竹内因奈  
長岡佳雪  
山中英美  
宮腰鹿山  
小泉恭輔  
中村栄一  
浜田羅牛

9月例会旬  
平成20年9月19日

